

# 城かべ 中塗用



基本を守ることは、良い壁を作る上でも大事なことです。  
その一つが上塗り前の砂しっくいです。  
壁を長持ちさせ、仕上がりが断然違います。

- 太めのマニラスサと南京スサをふんだんに使用、骨材も配合済みで、高強度の砂しっくいができます。
- 乾燥すれば白くなり、そのままの仕上げも可能。
- 油の添加で屋根工事にもご使用戴けます。

## 商品概要

①品名	城かべ中塗用
②性状	白色粉末 骨材入り
③主原料	消石灰、細骨材、粉末糊料、植物繊維
④荷姿	25kgクラフト防湿袋
⑤用途	壁中塗り、屋根
⑥用法	清水8Qにて混練 コテ塗り
⑦塗面積	6.6㎡(2坪)/t2.5mm~3.3㎡(1坪)/t5mm



# 城かべ 中途用

## 施工要領

### 1. 混練

- ① きれいな練り船に城かべ中途用と清水8ℓをいれ、練り鉢で充分練りあわせませす。  
(ハンドミキサーご使用の場合、容器に水を先にいれておくと練りやすくなります。)
- ② 油、ボンド等は水で練り上げた後に混入し、改めて充分練ります。
- ③ 混練後1～2日置いておくと良く馴染み、塗りやすくなります。

### 2. 下地処理

- ① 左官下地は完全に養生し、乾燥させ、ボード類は目地処理をしておきます。
- ② 表面をきれいに清掃して、シーラー引き、または水打ちをして下さい。

### 3. 塗り付け

- ① はじめに下地に食い込むように全面に薄くしごき塗りして、2回目に厚みを揃えます。
- ② 半焼きの金ゴテで充分押さえた後、刷毛で軽く目荒しておく  
上塗りが掛けやすくなります。
- ③ 表面の水引にムラが生じた場合新聞紙等を当て、調節します。
- ④ 半焼きのうちに上塗りを追いかけで塗ります。

### ※ 屋根工事

- 施工の手引きを参照してください。

## 試験項目 (試験方法)

①安定性試験 (JIS-A-6902)	②表面硬度 (JIS-A-6904, 6908)	③接着強度 (JIS-A-6909)	④耐候性試験 (JIS-A-5400 ウエザ-メーター)	⑤凍結融解試験 (-30℃～80℃ 10サイクル)
合格	8.5	2.0kgf/cm <sup>2</sup>	異常無し	異常無し

## 施工上の注意

- ① 外壁や水がかかるところへの施工には必ず「城かべ油」を混入してください。
- ② 混練後材料を1週間以上置く場合は糊剤(粉末銀杏草)を添加してください。
- ③ 土中塗や付着しにくい下地には必ずシーラー引きを施してください。
- ④ 木ゴテずりは目が荒くなりすぎ、強度も落ちますので、  
必ず金ゴテで押え、目荒して下さい。
- ⑤ 中途に油を添加した場合、乾燥してしまうと上塗りが付きにくくなりますので、  
必ず追いかけで仕上げてください。

製造



田川産業株式会社

〒826-0041 福岡県田川市大字弓削田1924番地

TEL 0947-44-2240

FAX 0947-44-8484